

テスラ
どうして素人にクルマ作りが
できたのか？

要約

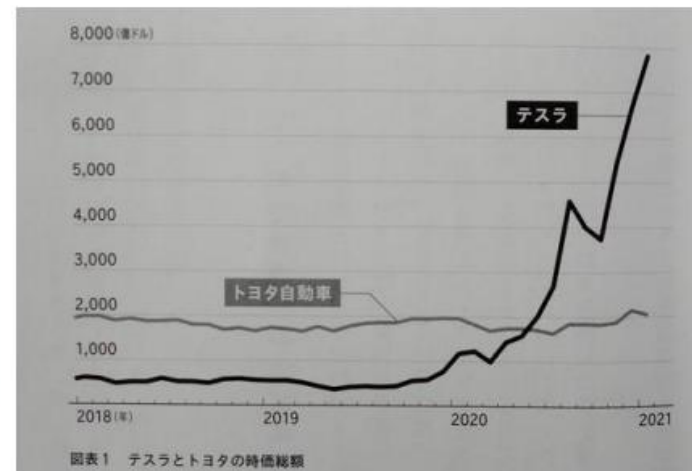
テスラの株価は100兆円。

他の全てのカーメーカーの株価を足し上げても及ばない。
参入障壁が大きいと言われていた自動車に新規参入し
20年間にトヨタの時価総額の4倍の100兆円を達成。

「クルマ作り素人にどうしてそんな偉業が達成できたのか？」
その成功の要因を人、モノ、金の面から探ると・・・

1. エンジン車でなく電気自動車の開発に取り組んだため
部品点数が少なくメーカーとしての参入障壁が低かった。
2. 大学院中退後の6年間で二つのソフト会社を立ち上げ
230億円の資金をゲットできた。
そしてこの230億円に甘んじることなくこの資金をもとに
スペースXを設立。

テスラの時価総額



スペースX開発風景



3. わずか4年でスペースXはNASAから宇宙輸送契約を獲得できた。
背景には、NASAは高コスト構造が問題となっていて反省の時期だった。
そしてイーロン・マスクの熱心な技術バックグラウンドがあった。

4. 高性能電気自動車のコンセプトでテスラを立ち上げた二人の創業者
からラッキーにも資金援助の依頼を受けて出資し会長に納まった。

5. 優秀なカーデザイナーと電気技術に詳しい技術者を獲得し、
モデルSを発表しカーオブザイヤーを獲得できた。

6. モデルSの量産に際して、経営難に陥ったGMとトヨタから
幸運にもNUMMIをわずか40億円で買収できた。

7. 生産地獄を見たがなんとか乗り切り、テスラの量産体制を整備できた。

8. EV化の大きな流れに乗ることができた。
また株価上昇の背景には、スペースXの技術イメージもあった。

テスラの創業者

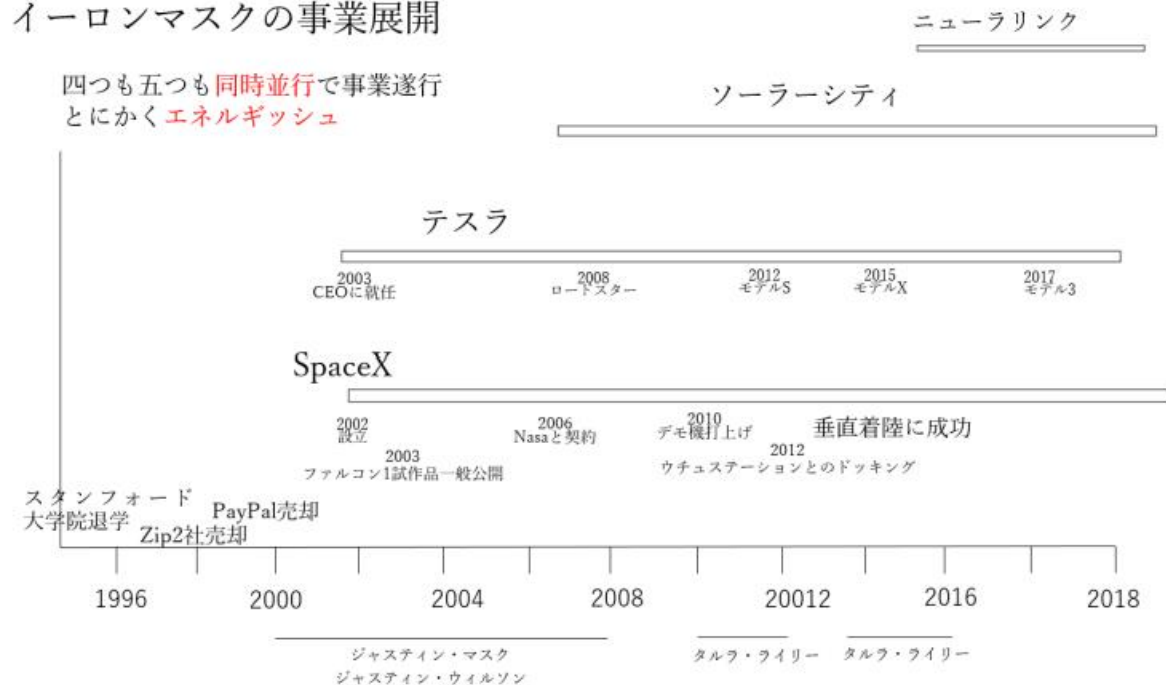


テスラを創業したふたり。Marc Tarpenning (左)、Martin Eberhard

NUMMI工場



イーロンマスクの事業展開



イーロン・マスクはスペースX、テスラ、ソーラーシティ、ニューラルリンク等の事業を同時に並行してビジネス展開

イーロン・マスクは、構想を描いて必要な技術を開発して成功したというより、構想を描きラッキーにも巡り会った人材、技術、設備をフルに有効活用し、たぐいまれな技術者としての熱心さととてつもないエネルギーで現在の成功に繋げた。

元妻のジャスティン・マスクは、「イーロンマスクは社会的不適合者で会社での決まり切った仕事はこなせなかったがとてつもない野心家」という。